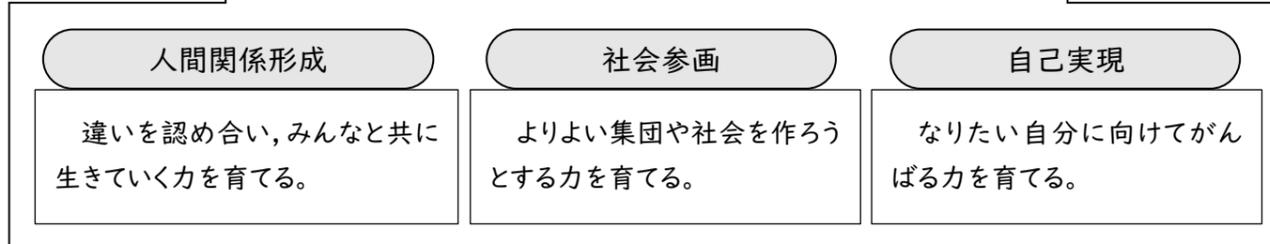


議題 「6-1スタート会をしよう」 (1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

1. 学級活動(1)で育成を目指す資質・能力

- 学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

育成すべき資質・能力の重要な視点



2. 第5学年及び第6学年における評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

3. 議題について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、ペアやグループになった時には、誰が相手でも話し合いを進めることができている。また、4月に決めた学年目標「やさしく かしく たくましく 下級生に信頼される6年生」の達成に向けて、対面式や学校探検などの1年生との関わり、縦割り班掃除や遠足のレク運営などの縦割り班活動に積極的に取り組み、下級生のことを考えて優しく関わっている姿がたくさん見られている。一方、授業中の全体の場合になると、発言することに消極的な児童が多く、一部の児童の発言で話し合いが進んでしまうことがある。また、休み時間には、クラス替えをしたこともあって、仲の良い小グループに分かれて過ごす傾向があり、友達の輪の中に入ることになっている児童も見られる。日常の会話の中には、相手が傷つくような言葉を深く考えずに発したり、無責任な言動が見られたりする。

学級活動については、4年生の頃から各学級で計画委員を輪番制で務め、学級会を行ってきた。学級の児童全員が計画委員を経験していることもあり、「出し合う」「比べ合う」「まとめる」の話し合いの流れを理解して、話し合いを人任せにせず、学級全体で進めていこうという意識は育ってきている。4月のオリエンテーションの際には、学級会はクラスをよりよくして、学校生活を楽しくしていくために話し合いをしていること、そのために、1人でも多くの方が意見を伝え、お互いの意見を大切にしながら話し合いを進めることが大切だと学級全員で共有した。5年生の時には、クラスの仲を深めるためのレクや転校生の歓迎会、先生の誕生日会、クラスのキャラクターづくり、学年全体で仲を深めるためのレク、新入生体験入学の際に新1年生歓迎のためのレクなどを議題として学級会を行ってきた。それぞれがやりたいことを実現させたいという思いで、意見がなかなかまとまらず、時間が過ぎてしまうこともあったが、回を重ねるごとに、友だちの意見を受け止めながらみんなで協働して取り組むことの良さを実感してきている。

(2) 議題選定の理由

本議題は、クラス替えもあって新しくスタートした6-1のみんなと仲良くなるために楽しいことをしたいという思いから選定された。4月のオリエンテーションで一人一人、やりたいことを議題カードに書いた結果、80%以上の児童が、まずは新しいクラスになった友だちと楽しいことをしたいという思いを持っていることが分かり、計画委員を中心に議題を選定した。提案理由を見ると、初めて同じクラスになった人がいること、あまり話をしたことがない人がいること、新しいクラスにまだ慣れていない人がいること、仲を深めてクラスを良い雰囲気になりたいことなどが挙げられているので、今回の学級会やその後のスタート会の実践を通して、お互いのことを知り、いろいろな人と関わられるような機会にしていきたい。また、話し合いや準備、運営の中で、一人一人が自分の役割や責任を果たして、みんなと協力しながら活動することの良さを味わわせたい。

4. 指導と評価の計画

事前の活動		本時の展開		事後の活動	
日時	計画委員の活動計・学級全員の活動学	本時のねらい 新しいクラスでいろいろな人と関わり、仲良くなるための内容と工夫を考えることができる。		日時	計画委員の活動計・学級全員の活動学
5月2日(火) ①昼休み ②帰りの会	①議題の選定計 ・議題カードをもとに話し合う議題を選定する。 ②議題の決定学 ・計画委員が選定した議題案をもとに、学級全員で議題を決定する。	話し合いの順序	気をつけること ○留意点	5月15日(月) ①②朝の会	①決まったことを知らせる計 ・学級会で決まった要点をまとめて伝えられるよう助言する。 ②役割分担学 ・決まったことをふまえて役割を決める。
5月8日(月) ③昼休み ④帰りの会	③活動計画の作成計 ・学級会の役割分担やめあて、決まっていること、話し合いの柱等を確認し、学級会コーナーに掲示する。 ④案募集学 ・提案理由を踏まえて、学級会ノートに自分の考えを記入する。	1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認	◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】	5月15日(月)～ ③休み時間など	③スタート会に向けての準備学 ・自分の役割をふまえて準備を行う。
5月9日(火) ⑤昼休み	⑤案の整理計 ・学級会ノートに目を通し、書かれた意見を整理する。	4 提案理由の確認 5 めあての確認 6 決まっていることの確認 7 先生の話	◎いろいろな人と関わり、仲良くなるための内容や工夫はどれがよいか、根拠を明確にしながら発言したり、友だちの意見と比べて聞いたりしている。 (思考・判断・表現)【観察・発言】	5月19日(金) ④学級活動 ⑤帰りの会	④交流学习学 ・めあてを意識して、楽しく活動する。 ⑤振り返り学 ・めあてに対する振り返りをするとともに、自他の頑張りも認められるようにする。
5月11日(木) ⑥昼休み	⑥学級会のシミュレーション計 ・進行、板書をイメージしながら確認し、話し合いの見通しをもてるようにする。	8 話し合い 話し合うこと 柱① 「何をするか」 話し合うこと 柱② 「みんなが楽しむための工夫」 話し合うこと 柱③ 「役割」 9 決まったことの発表 10 振り返り 11 先生の話 12 おわりの言葉	◎自分で決めためあてを意識し、友だちと協力して取り組んでいる。 (思考・判断・表現)【学級会ノート・観察】 ◎活動の成果と課題を振り返り、自他の頑張りに気付いたり、次の活動に生かそうとしたりしている。 (主体的態度)【学級会ノート・観察】	◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】	
◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】 ◎活動への見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。 (主体的態度)【学級会ノート・観察】 ◎お互いのことを知り、仲良くなることのできる集会の内容を学級会ノートに書いている。 (知識・技能)【学級会ノート・観察】		5. 板書計画		◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】	

5. 板書計画

<p>第1回 学級会 議題 「6の1スタート会をしよう」</p> <p>提案理由 クラス替えがあつて、初めて同じクラスになった人やあまり話をしたことがない人もいるので、クラスみんななでレクをす ると楽しくスタートができると思つたら。 めあて いろいろな人と関わり、仲良くなるためにできることを考えよう。 決まっていること ①日時…5月19日(金)3校時 ②場所…教室 ③レクは3つまで 柱① 何をするか 比べ合う ・フールツバスケット ・いすとりゲーム ・山手線ゲーム ・クイズ ・絵しりとり 柱② みんなが楽しむための工夫 出し合う 比べ合う ・全体の工夫↓楽しい雰囲気 かざりつけ レクの工夫↓グループ分け 協力できるルール 柱③ 役割 ・司会 ・ルール説明 ・あいさつ ・準備物 まとめ ふりかえり</p>
--